

ザ・スターリン

40歳 念想記

大破産!

未遂事件

渋谷・白日夢

アーティスト

公園通り



THE STALIN

2020.6.27 渋谷公園通りクラシックス 11:30~16:10

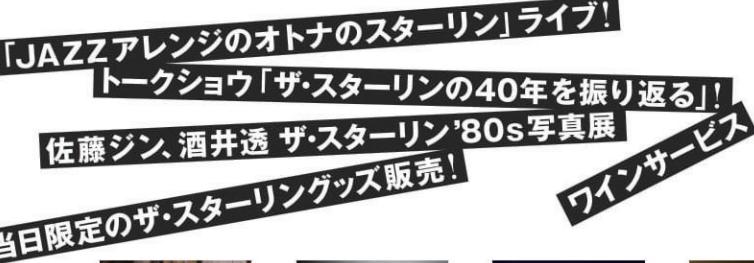
ザ・スター・リン「大破産」に寄せて。  
マンガ家は尻餅を付く。

# ザ・スター・リン40執念 [大破産]未遂記念パーティー [渋谷・白日夢]開催!

ザ・スター・リン1stアルバム『trash\*』39年ぶり再発記念! イヌイジュン著『中央線は今日もまっすぐか? オレと遠藤ミチロウのザ・スター・リン生活40年』発売記念! ▶6月13日(土)、26日(金)、27日(土)、28日(日)に渋谷WWWX他で行う予定だったザ・スター・リン40執念【大破産】はコロナ禍の影響で開催が延期に……。そこで、代替イベント「ザ・スター・リン40執念【大破産】未遂記念パーティー【渋谷・白日夢】」を開催する。

## 渋谷・公園通りクラシックス 2020年6月27日(土) 11:45~16:10

※11:30開場 ※6セットに別れています。各回完全入れ替え制です。



### チケット

予約/当日とも各セット1,500円



ご予約=ご予約はいぬん堂まで。

<http://inundow.shop-pro.jp/?pid=151686224>

当日券について=各セット毎、開演20分前から当日券を販売します。

### イベントプログラム

セット1=11:45-12:25

「JAZZアレンジのオトナのスター・リン」ライブ「フィッシュイン」より1  
[魔魚、T-Legsなどを予定]※

セット2=12:30-13:10

「JAZZアレンジのオトナのスター・リン」ライブ「フィッシュイン」より2  
[フィッシュイン、バイバイ・ニーチェなどを予定]※

セット3=13:15-13:55

トークショウ「ザ・スター・リンの40年を振り返る」インディーズ時代  
1981年新宿ACBでのライブビデオをご覧いただけます。

出演=イヌイジュン、宮西計三、酒井透

セット4=14:00-14:40

トークショウ「ザ・スター・リンの40年を振り返る」STOP JAPから今まで  
1984年後楽園ホールでのライブビデオをご覧いただけます。

出演=イヌイジュン、宮西計三、行川和彦

セット5=14:45-15:25

「JAZZアレンジのオトナのスター・リン」ライブ「トラッシュ」より1  
[メシ喰わせろ、主義者(イスト)などを予定]※

セット6=15:30-16:10

「JAZZアレンジのオトナのスター・リン」ライブ「トラッシュ」より2  
[アーチスト、溺愛などを予定]※

※ライブセット出演=宮西計三(Vo)、ヒグチケイコ(Vo,Pf)、ko2rock(As)、  
稻毛ルイス(Ba)、イヌイジュン(Dr)

40年前、ぼくはそんなマンガ家が大嫌いだった。マンガ家などと言う者は、机にしがみつく様に座り込みペツタン、ペツタン、椅子に尻を打ち付けているのだから。その姿は猿の様で、又その内実は映画、小説、絵画の物真似。それで先生様気取りとては糞と嘘の座蒲団替わりに鑑餅でも付いているのか!?と言いたくなる。それは今も変わらない。歩きながら考え、彷徨ようて旅し走り抜ける。それが生きるということとROCK'n'ROLLなんだ。

それは今も変わらない。

のんびり座つて鼻をほじつてる場合じゃ無いだろう?

創傷感と怨恨を逆手に取つて性いっぱいの自惚をまぶした爆音がロツクバンド「スター・リン」なんだ!

あの日から40執念! おめでとうスター・リン!

それは今も変わらない。

2020.6.12 宮西計三



①宮西計三=マンガ家。1956年大阪に生まれ奈良に育つ。1971年15歳の時に上京し真崎 守氏の弟子を経て73年徳間書店劇画大賞佳作第一席にてデビューする。単行本、昭54年「ビッグピュ」ブロンズ社、昭56年「薔薇の小部屋に百合の寝台」久保書店、昭55年「笑み花」廣済堂出版、昭57年「金色の花嫁」昭59年「少年時代」共にけいせい出版、昭63年「頭上に花をいたぐ物語」東京デカド社、平1年「カボチャ王子+19篇」松文館、1990年「Esther」1994年「Lyrica」1999年「Maila」共にベヨトル工房、2000年「BALSAM & ETHER」河出書房新社。

②ヒグチケイコ/ Keiko Higuchi=身体、声、呼吸のつながりを探求し、即興からジャズまで幅広くこなすボーカリスト。アメリカ・ボストンにて声を使うパフォーマーとして活動開始、'98年に帰国以来、その独特な声で表現される唯一無二の世界観は欧米での評価も高く、ソロの活動の他にも多くのコラボレーションやダンス、演劇などの作品に参加。過去には写真・執筆を発表している。<http://cleokcleok.wixsite.com/keiko-higuchi> ■ [www.facebook.com/cleokcleok](http://www.facebook.com/cleokcleok) ■ <http://keikohiguchi.bandcamp.com/>

③ko2rock=R&RもSwingもSoulもWorld MusicもAvant-Gardeも。多様なジャンルを駆け回り歌い散らかすサックスプレイヤー。じゃがたら2020他で活躍中。  
一言「まさかスター・リンの曲を演奏する日がくるとは思ってもいませんでした……。」

④ルイス稻毛=魔術の庭、夜光虫、The Hundred Devils

⑤イヌイジュン/Jun Inui=乾純。ドラマー、建築家。日本のバンクロックの象徴として一世を風靡したザ・スター・リンを1980年、遠藤ミチロウと二人でスタートさせる。バンドの激烈なステージはメディアでも頻繁に話題になったが、メジャー・デビュー直前、最もザ・スター・リンらしいと言われる激しく演奏も充実した頃、イヌイは歌手のミチロウよりも「過激」とされた。85年のバンド解散まで断続的にザ・スター・リンに加わり、2019年のミチロウ死去をきっかけにザ・スター・リンX、ザ・スター・リンYを組織、積極的な音楽活動を行っている。1959年、兵庫県尼崎市生まれ。

⑥酒井透=秘境・不思議スポット探検家／写真家。1986年から5年間 写真週刊誌「FOCUS」(新潮社)編集部 カメラマン。逮捕直後の宮崎勤をスクープする。国内はもとより、これまでに50カ国あまりで取材活動を行っている。「興味のあることすべて」が取材対象。著書に『中国B級スポットおもしろ大全』(新潮社)、『未来世紀 軍艦島』(ミリオン出版)、『軍艦島に行く』(笠原出版社)、『ニッポンの不思議スポットTHE BEST』(ミリオン出版)、『軍艦島 池島 長崎世界遺産の旅』(筑摩書房／共著)などがある。

⑦行川和彦=1963年2月28日東京都八王子市生まれ。1986年にDOLLでライター活動を始め、現在はレコード・コレクターズ、ミュージック・マガジン、ヘッドバンなどで執筆中。『パンク・ロック／ハードコア・ディスク・ガイド1975-2003』(2004年～監修本)、『パンク・ロック／ハードコア史』(2007年)、『パンク・ロック／ハードコアの名盤100』(2010年)を発表(いずれもリットーミュージック刊)。現在4冊目を執筆中。Hard as a Rockを座右の銘とする音楽文士&パンクの弁護人。